

金沢大学附属病院 内科専門医研修プログラム

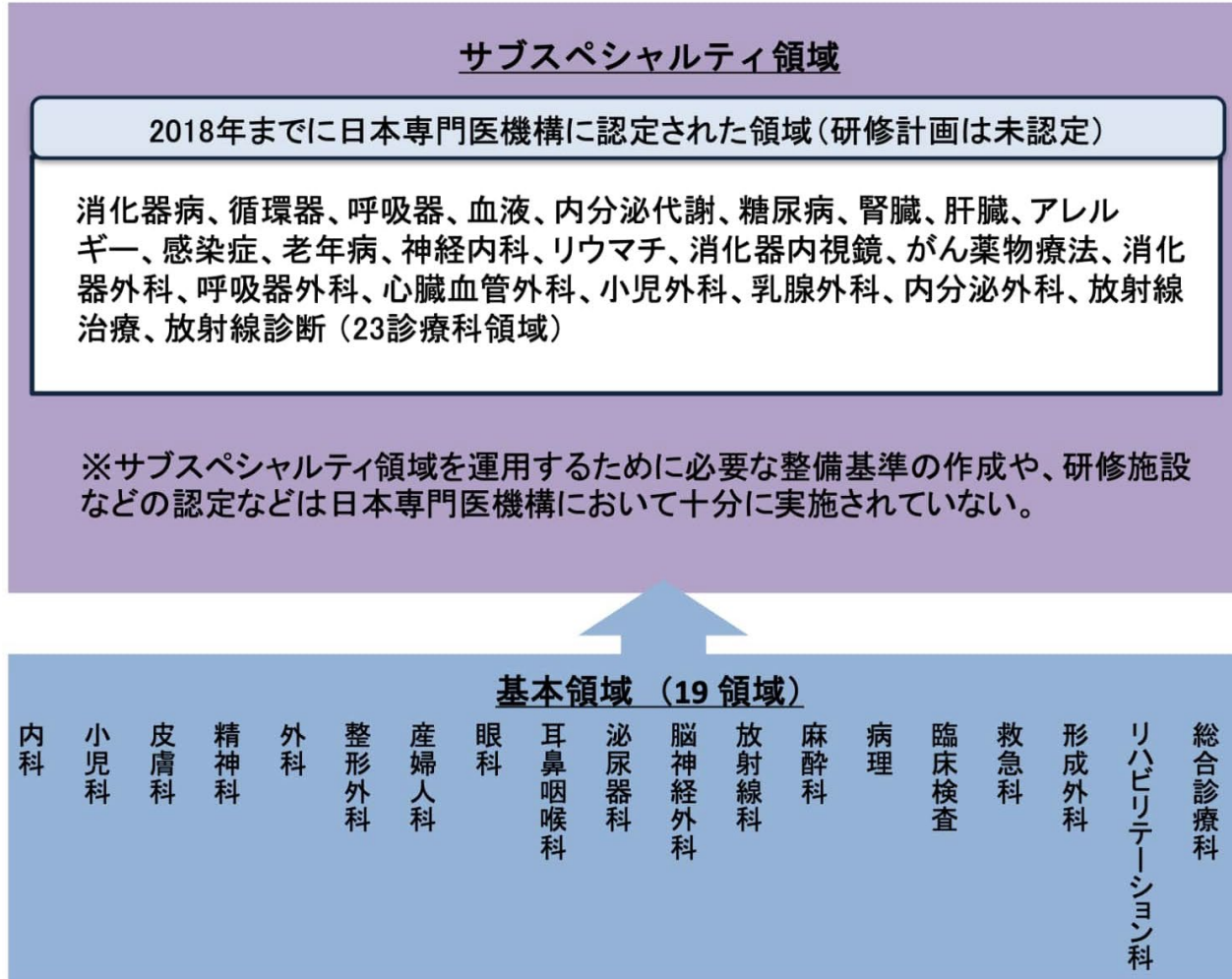


金沢大学 内科専門医研修プログラムのまとめ

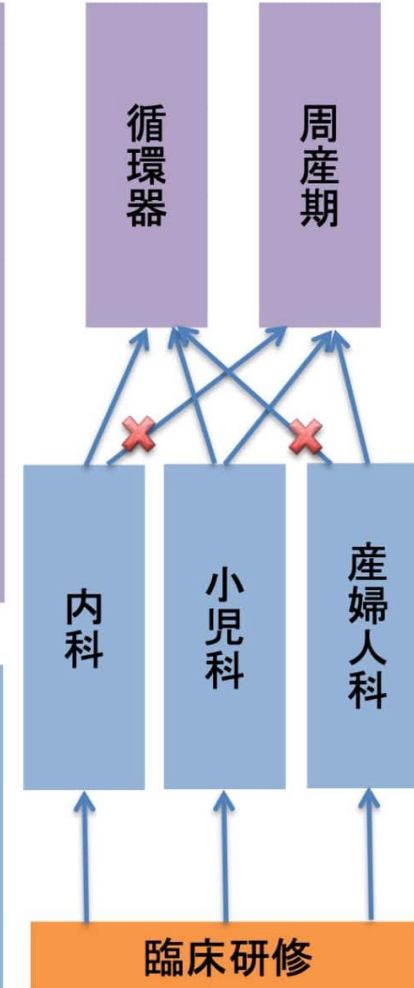
- 幅広く、豊富な症例数を3年間で経験できる
- 全領域に於いて教育体制が充実している
- 北陸の医療を支える大学病院や幅広い地域中核病院で経験を積める
- 専攻医の志向に合わせた3つのコースが選べる

新しい専門医制度とサブスペシャリティ領域 まずは総合内科能力を身につける

(日本専門医機構の基本領域とサブスペシャリティ領域)



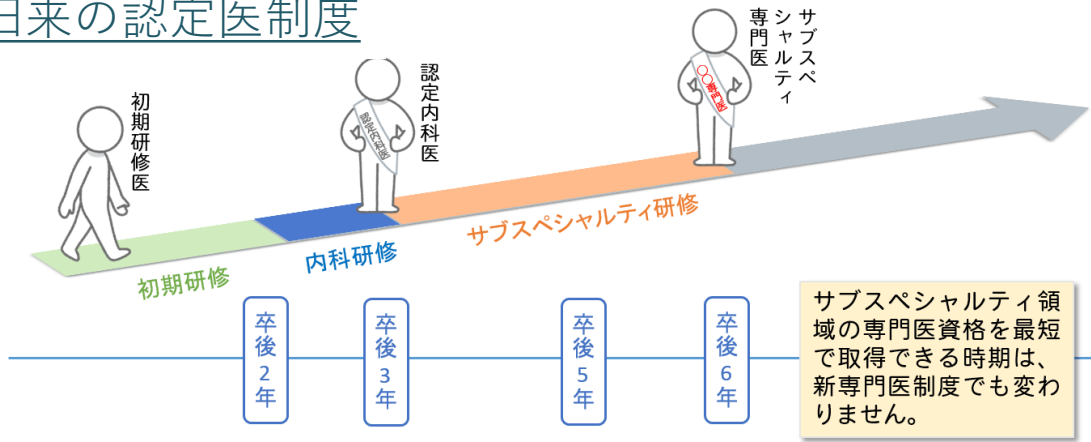
(二段階制に基づく、
専門研修の領域選択の例)



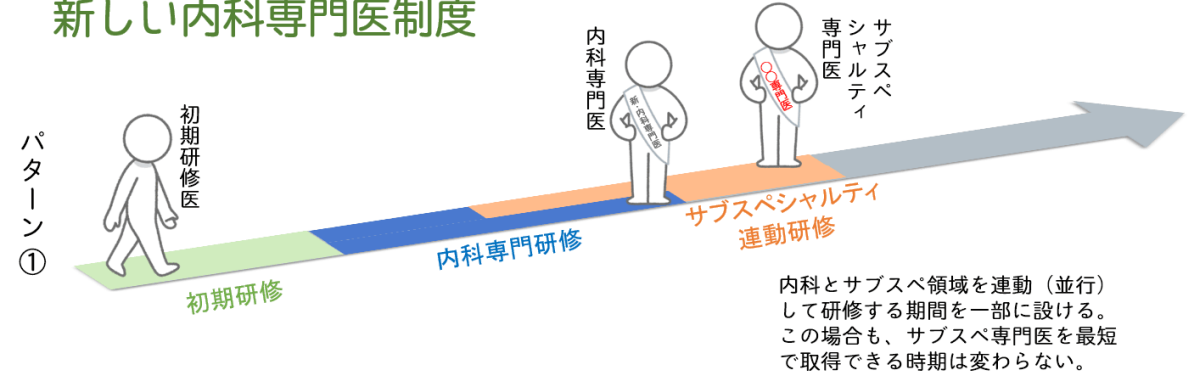
新しい専門医制度と旧来の認定医制度の違い

サブスペ専門医を取得できる時期は同じ

旧来の認定医制度



新しい内科専門医制度



内科専門医取得に必要な修了要件

- 主担当医として、内科領域56疾患群を含む**160症例**を受け持ち、内科学会のシステム（**J-OSLER**）に登録すること
- 専門研修3年目に**29症例**の病歴要約を提出し、承認されること
- 所定の2編の学会発表または論文発表
- **JMECC**の受講（研修期間中に1回）
- 各研修プログラムで定める講習会の受講（研修期間中に6回）
- 指導医とメディカルスタッフによる360°評価（半年毎）に基づき、医師としての適性に疑問が無いこと



以上の要件を満たして3年間で**専門研修の修了認定**を受け、翌年の**専門医試験**に合格することで内科専門医資格を得る。

経験すべき疾患群 研修手帳より 70の疾患群から最低1症例は経験



- 各臓器、病態ごとに疾患群が分類.
「消化器」 9 「循環器」 10 「内分泌」 4
「代謝」 5 「腎臓」 7 「呼吸器」 8 「血液」 3
「神経」 9 「アレルギー」 2
「膠原病および類縁疾患」 2 「感染症」 4 「救急」 4
- 疾患群の数の合計 = 67+3 「総合内科Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ」

循環器疾患では10の疾患群、それぞれ最低1症例必要

	循環器	到達レベル	
1	虚血性心疾患	1) 急性冠症候群	
		① 不安定狭心症	
2	虚血性心疾患	② 急性心筋梗塞	
		2) 安定型狭心症	
		① 労作性狭心症	
		② 安静時狭心症, 異型狭心症	
3	血圧異常	3) 陳旧性心筋梗塞, 無症候性心筋虚血	
		1) 本態性高血圧症	
		2) 腎性高血圧症(腎血管性高血圧症を含む)	
		3) その他の二次性高血圧症	
		① 原発性アルドステロン症	
		② 褐色細胞腫	
		③ Cushing症候群	
		④ 大動脈縮窄症	
4) 低血圧, 起立性調節障害			
4	不整脈	1) 期外収縮	
		2) 頻脈性不整脈	
		① 上室頻拍, WPW症候群	
		② 心房粗・細動	
		③ 心室頻拍, 心室細動	
		3) 徐脈性不整脈	
5	不整脈	① 洞不全症候群	
		② 房室ブロック	
		4) QT延長症候群	
		5) 心臓突然死, Brugada 症候群	
		失神	
6	弁膜疾患	1) 神経調節性失神	
		2) 心原性失神	
		感染性心内膜炎	
		1) 僧帽弁疾患	
		① 僧帽弁狭窄症	
		② 僧帽弁閉鎖不全症	
		2) 大動脈疾患	
		① 大動脈弁狭窄症	
		② 大動脈弁閉鎖不全症	
		3) 三尖弁疾患	
① 三尖弁閉鎖不全症			
7	先天性疾患	1) 心房中隔欠損症	
		2) 心室中隔欠損症	
		3) 動脈管開存症	
		4) Eisenmenger症候群	
		異常循環	1) 肺高血圧症
			2) 肺性心
			3) 肺血栓塞栓症
	心臓腫瘍		

	循環器	到達レベル
8	心膜疾患	1) 急性心膜炎
		2) 収縮性心膜炎
		3) 心タンポナーデ
	心筋疾患	1) 急性心筋炎
		2) 肥大型心筋症, 拡張型心筋症
		3) 二次性心筋症
		① 心アミロイドーシス
		② 心サルコイドーシス
		③ その他の二次性心筋症(心Fabry病など)
		④ その他の二次性心筋症
4) たこつぼ型心筋症		
9	大動脈疾患	1) 大動脈解離, 大動脈瘤
		2) Marfan 症候群
		3) 高安動脈炎(大動脈炎症候群)
	末梢動脈疾患	1) 閉塞性動脈硬化症
		2) Buerger病
静脈疾患(血栓性静脈炎, 深部静脈血栓症)		
10	心不全	1) 心原性ショック
		2) 急性心不全
		3) 慢性心不全



多すぎ...

金沢大学附属病院の疾患領域別症例数 各領域で十分が症例を経験できる



	総合内科	消化器	循環器	内分泌	代謝	腎臓	呼吸器
年間入院症例数	6548.8	12,800	10627.4	586.5	2400.7	3720.1	9342.3
疾患群の充足度	3/3	9/9	10/10	4/4	5/5	7/7	8/8

	血液	神経	アレルギー	膠原病	感染症	救急
年間入院症例数	1988.3	3586.0	401.5	808.2	1286.1	6370.3
疾患群の充足度	3/3	9/9	2/2	2/2	4/4	4/4

* 2017年度実績

J-Oslerの登録において大切なこと 勝負はもう始まっている!?



- 症例登録は質より量
症例登録160例，チェックは指導医のみ，内容は少ない
病歴要約29例，外部からの査読，修正依頼あり，期限短い
研修医症例も登録可能
- 70の疾患群の制覇を目指す
- 必要なもの：研修手帳と退院サマリー（担当患者一覧）
- 指導医との良好な関係を

連携する関連病院の概要

北陸三県を中心とした巨大な病院施設群

石川県立中央病院
金沢医療センター
金沢市立病院
公立能登総合病院
石川県済生会 金沢病院
JCHO 金沢病院
浅ノ川総合病院
KKR北陸病院
金沢赤十字病院
加賀市医療センター
芳珠記念病院
やわたメディカルセンター
小松市民病院
公立松任石川中央病院
董仙会恵寿総合病院

市立輪島病院
公立つるぎ病院
能美市立病院
珠洲市総合病院
宇出津総合病院
金沢循環器病院
国立病院機構 医王病院
恵寿金沢病院
国立病院機構 七尾病院
河北中央病院
町立富来病院
国民健康保険 志雄病院
公立穴水総合病院
国立病院機構 石川病院
公立羽咋病院

富山赤十字病院
富山県立中央病院
高岡市民病院
黒部市民病院
市立砺波総合病院
南砺市民病院
富山市立富山市民病院
北陸中央病院
国立病院機構 北陸病院
富山県厚生連滑川病院
富山県厚生連高岡病院
八尾総合病院
福井県立病院
市立敦賀病院
福井県済生会病院
福井循環器病院
横浜栄共済病院
国立循環器病研究センター

※基幹施設、関連施設でそれぞれ1年以上の研修が必要

コース概要：subspeciality重点コース

各専門領域のSpecialistとしても早くから経験を積む
現専攻医の多くが本コースを選択

コース概要：希望専攻科に入局した場合のプログラム												
後期研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	希望専攻科で初期トレーニング			大学病院もしくは関連病院での各科研修(各科とSubspecialtyの並行研修が認められる)								
		午後外来担当		5月から1回/月の当直研修(所属科もしくは救急科)								
	1年目にJMECCを受講											
2年目	大学病院もしくは関連病院での各科研修(基本的に1年目とのたすきがけ、並行研修が認められる)									地域医療研修		
	初診+再診外来 週に1回担当 当直研修									内科専門医取得のための 病歴提出		
3年目	希望専攻科研修(関連病院 / 大学病院、並行研修が認められる)									調整期間		
	初診+再診外来 週に1回担当 (大学病院では午後外来) 当直研修									内科専門医取得のための 筆記試験		
その他の要件	医療安全研修、感染対策研修の年2回の受講、CPCの受講											
コース参加資格	各専攻科で初期研修終了時点における経験症例数による条件を設定する。											
1年目のローテーションについて	最初の2-3カ月は希望Subspecialty科で基本的トレーニングを受ける。その後、大学病院もしくは関連病院にて各科をローテーションする。ローテーション期間中も内科各科とSubspecialtyの並行研修(開始の時期を特に定めない)が認められる。											
地域医療研修	2年目の3ヶ月間は、地域密着型の病院における研修にあてる。(総合内科初診外来や当直業務などを中心に)											
大学院進学の場合	後期研修3年目以降、大学院への進学を考慮する。											
その他												

コース概要：大学院重点コース

リサーチマインドを備えた内科専門医を養成するコース

コース概要：希望専攻科での大学院重点プログラム												
後期研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	希望専攻科で初期トレーニング			大学病院もしくは関連病院での各科研修(各科とSubspecialtyの並行研修が認められる)								
		午後外来担当										
	5月から1回/月の当直研修(所属科もしくは救急科)											
	1年目にJMECCを受講											
2年目	希望専攻科大学院 (Subspecialty科での臨床研修も可能) [ただし、充足していない領域をローテーション(並行研修も可能)することもある] // 最大6か月まで関連病院での内科研修をすることもある									地域医療研修		
	初診+再診外来 週に1回担当 (大学病院では午後外来) 当直研修									内科専門医取得のための 病歴提出		
3年目	希望専攻科大学院 (希望専攻科での臨床研修や各科とSubspecialtyの並行研修も可能)									調整期間		
	初診+再診外来 週に1回担当 (大学病院では午後外来) 当直研修									内科専門医取得のための 筆記試験		
その他の要件	医療安全研修、感染対策研修の年2回の受講、CPCの受講											
コース参加資格	各専攻科で初期研修終了時点における経験症例数による条件を設定する。(各科重点コースよりも厳しくする)											
1年目のローテーションについて	最初の2-3カ月は希望Subspecialty科で基本的トレーニングを受ける。その後、大学病院もしくは関連病院にて各科をローテーションする。ローテーション期間中も内科各科とSubspecialtyの並行研修(開始の時期を特に定めない)が認められる。											
大学院進学の場合	後期研修2年目以降、大学院への進学を考慮する。この場合、大学院での研究を行いながら、内科専門医、Subspecialty専門医取得に必要な臨床修練を並行して行うこととする。1日/週程度で研究日を設けることも検討する。											
地域医療研修	2年目の3ヶ月間は、地域密着型の病院における研修にあてる。(総合内科初診外来や当直業務などを中心に)											
その他												

コース概要：内科基本コース

全人的・臓器横断的なGeneralistを養成するコース

コース概要：各領域を時間をかけて研修し、内科専門医の取得を目指す。												
後期研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	1診療科で 初期トレーニング		大学病院もしくは関連病院での各科研修									
	5月から1回/月の当直研修(所属科もしくは救急科)											
	1年目にJMECCを受講											
2年目	大学病院もしくは関連病院での各科研修									地域医療研修		
	初診+再診外来 週に1回担当											
										内科専門医取得のための 病歴提出		
3年目	大学病院もしくは関連病院での各科研修						調整期間					
	初診+再診外来 週に1回担当 (大学病院では午後外来)											
										内科専門医取得のための 筆記試験		
その他の要件	医療安全研修、感染対策研修の年2回の受講、CPCの受講											
コース参加資格	なし											
1年目ローテーションについて	最初の2-3カ月は本人希望の大学病院内の1診療科で基本的トレーニングを受ける。その後は大学病院もしくは関連病院にて各診療科を最低2か月以上ずつローテーションする。(科目:消化器、循環器、内分泌・代謝、腎臓、リウマチ・膠原病、血液、呼吸器、神経、腫瘍)											
2年目以降の研修について	希望に応じてプログラム内のコース変更は可能とする。											
地域医療研修	2年目の3ヶ月間は、地域密着型の病院における研修にあてる。(総合内科初診外来や当直業務などを中心に)											
その他												

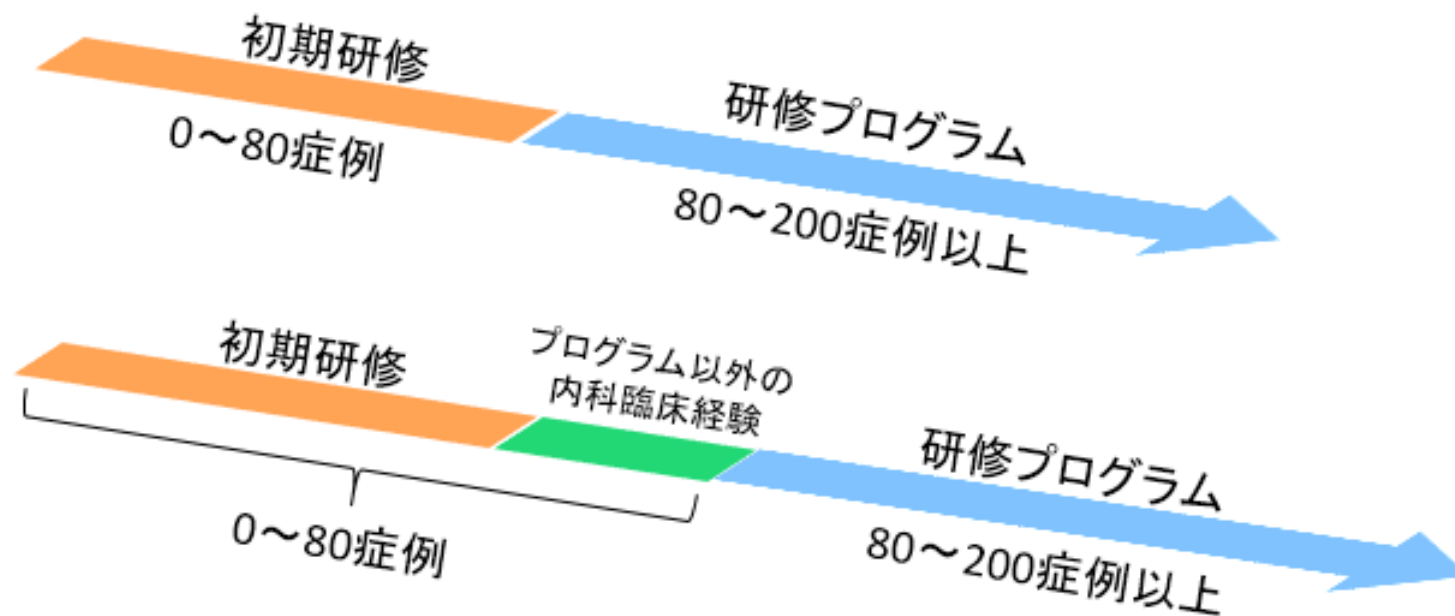
こんな先生に選んでほしい専門研修プログラムです

- 将来は北陸で内科医をしたい
- 大学、初期研修で県外に出たけれども、そろそろ地元に戻ろうと思っている
- 最短で専門研修を終了して専門医資格を取得したい
- いち早く専門性の高い診療経験を積みたい
- 世界に通用する様な大きな研究がしたい



Q1. 初期研修症例は登録できるのか？

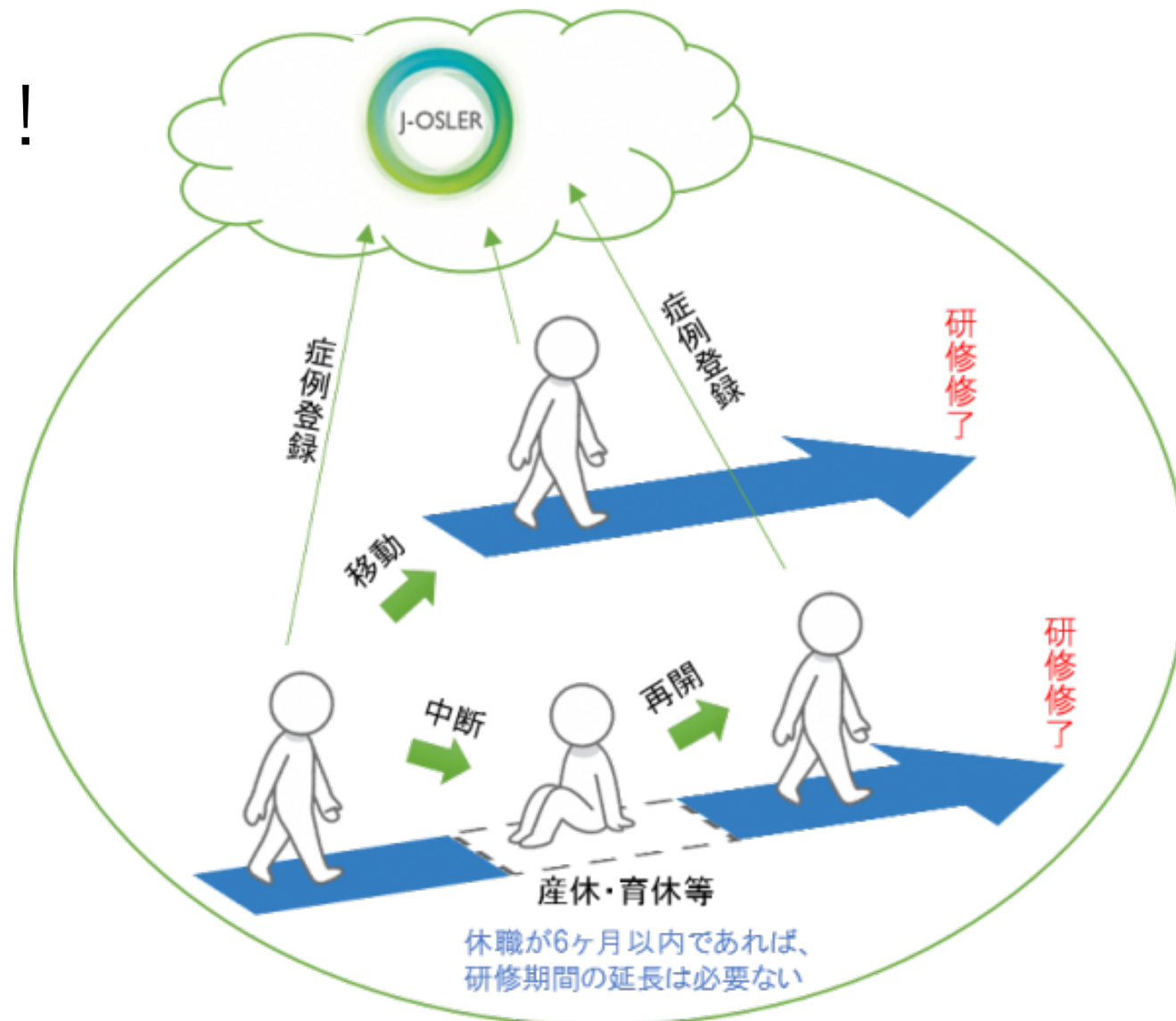
A1. できます！ J-OSLERに登録できる症例数



初期研修修了後、研修プログラムに属さなかった期間に経験した内科症例でも、内科専門医としての経験症例に相応しいものであれば、遡及して登録できる。

Q2. プログラムの中断、再開、変更などできるのか？

A2. できます！



Q3. JMECCは研修中に受けられるか？

A3. できます！

2022年度は石川県で3回開催

2023年度は当院でも、年2回開催を予定

(希望者数に応じて調整あり)

その他、富山、福井県でも定期的に

初期研修中の受講歴でもOK

